

大江こども園 外部評価・自己評価

2022.3.31

認定こども園 大江こども園

当園では、2020年度の園の評価と、外部評価を行いました。園自体が日ごろの仕事を見つめなおし、評価をいたしました。また、保護者会の役員の皆様に、園の評価をお願いいたしました。その結果を重く受け止め、さらなる育活動の充実・環境整備・資質の向上に努めてまいりたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

教育・保育方針

- 1 子どもをありのままを受け止めて、安心してくつろげる環境を築き、情緒の安定を図る。
- 2 健康や安全に関する生活に必要な基本的習慣を養い、健全な心身を養う。
- 3 信頼関係を気づき、協調性や思いやりの心、子どもの主体性を尊重して自立心を養う。
- 4 職員の資質の向上を図り、小学校との連携を図りながら、質の高い教育・保育を提供していく
- 5 家庭や地域社会と連携を図り、地域の子育て支援の拠点として、育児相談や子育て情報を提供しながら子育て家庭の支援を図る。

評価の基準	A	充分達成できた
	B	ほぼ達成できた
	C	あまり達成できなかった
	D	ほとんど達成できなかった

	評価の内容	自己評価	外部評価
1	教育・保育方針を理解し、環境を整えている。	B	A
2	園の保育教諭は子どもたちの対応に熱心である。	A	A
3	子どもたちの発達過程理解し、個々に応じた配慮をし、教育・保育を行っている。	B	A
4	日々の観察に努め、適切な保育・援助を行っている。	B	A
5	日々の保育の中で子どもの成長がみられる	A	A
6	職員は保護者・外来者への対応が丁寧で適切である。	A	A
7	園は配布物・ホームページなどで園の様子を公開している。	B	A
8	園は保育環境を整えるための計画を進めている	B	B
9	保護者の要望に応じた保育を実践している。	B	A
10	園は園児の安全を最優先し、施設の安全管理、衛生管理を行っている。	A	A
11	園は子どもたちの健康管理を行い、必要に応じて保護者に連絡するなど適切な対応をしている。	A	A
12	人や自然とのかかわりを育む環境を大切にしている。	A	B
13	乳幼児の教育に、園や近隣の自然、施設を活用している。	A	B
14	園では防災や防犯に対して定期的に訓練を行い、その防止に努めている。	A	A
15	園では保護者支援を適切におこなっている。	B	B

(外部評価)園の評価に関すること、ご意見、ご要望などございましたら、ご記入をお願いします。

園の様子を動画配信したのうれしかった。
 職員の丁寧な対応や熱心な教育に満足している。
 漂白剤が衣類に付着して衣類を処分したことがあり、園の除菌の際は気を付けてほしい。
 園での様子を写真等で見るのができればいいと思う。
 コドモン導入はとて面白いと思う。今後も新しい取り組みを積極的に実施してほしい。

自己評価 (活動目標の達成度と成果)

- 1 幼保連携型認定こども園に移行して5年。職員は保育園と幼稚園の両方の機能を十分理解し実質的に一体的に運営する施設となったことから、保育・教育課程、保育計画を見直し再編成した。短時間保育と標準保育、0歳児から6歳児までの多様なニーズに対応するため、改定された認定こども園要領を職員会議や職員研修の中で職員間で共通理解し、園の中の問題の所在を明らかにして、出来ることから改善していった。4月からは園がスタートして9年目を迎える。絶えず子どもの目線に立つことを忘れずに保育を行い、来年度はさらに評価が上がるよう努力したい。
- 2 ベテランと新人、幼稚園経験者と保育園経験者と多様な職員構成となっており、それぞれが異なる視点から保育の質を高めあう機会となった。しかし経験の少ない保育教諭への細やかな指導が十分にできたとは言えない状況もあり、園児への対応や、保護者への対応などを中心とした指導は経験豊かな職員全員が共通理解しさらにわかりやすい内容の指導となるようさらなる努力が必要かと思われる。
- 3 園児一人一人の性格、家庭環境、保育時間など十分理解をしたうえで、それぞれに合った教育・保育を提供していく配慮が必要となるが、十分満足すべき内容のものばかりではなかったと思う。職員が保護者に子どもの状況をしっかり伝えて、安心感と信頼感をもっていろいろな活動に取り組む環境を作り上げていく必要がある。。
- 4 今年度も、手厚い人員を配置し、よりきめ細かに子どもを見守ることができたと思う。特に大きな事故もなく子どもたちのお世話ができたと思う。職員は保護者はもちろん園関係者にも丁寧な対応を心掛けている。園の行事はコロナ感染症対策のために、中止や内容の変更を余儀なくされた。しかしできる範囲で子どもたちに楽しんでもらい、保護者の方々にも園の様子を伝えることができた。
- 5 施設の安全点検や衛生管理は担当を決め毎日行っている。また毎月火災訓練を行い、子どもたちに安全教育も実施している。その他防犯訓練や地震訓練など定期的に行っているため、避難が自然にできるようになっていた。
- 6 自然に親しむため、天気の良い日には園庭で追いかっこやボール遊び、自由に走り回る中で、友達とのかかわりを自然に覚えていった。また近くの学園大学や公園までお散歩に行ったりして、虫や草花など自然環境と触れあいを大切にしようとした。